

昆虫標本館 ー最近の寄贈標本についてー

Newly Donated Collections in the Insect Museum of NIAES

安田耕司・吉松慎一・中谷至伸*

Koji Yasuda, Shin-ichi Yoshimatsu and Yukinobu Nakatani

はじめに

昆虫標本館で保管されている約 120 万点の昆虫標本には、当標本館の歴代の研究員が自ら収集したもの以外に、外部機関の研究者や個人から寄贈されたものも含まれている。それらの寄贈標本の概要については本誌 1 号（安田耕司，2002）で紹介したが、ここでは最近新たに寄贈されたコレクションについて簡単に紹介する。

田中和夫コレクション

田中和夫氏は害虫防除関連会社に勤務され、衛生動物および家屋害虫の分野で長年活躍されてきた。特にカ類の分類では日本の第一人者であり、カ類の分類や生態の研究に功績のあった研究者に贈られるアメリカ蚊類防除協会のベルキン賞を 2004 年にアジア人で初めて受賞された。またオサムシ科の分類にも造詣が深く、これまでに約 60 種の新種を記載されている。この度、ホロタイプ標本を含む推定 8000 点のオサムシ科標本を寄贈していただくことになり、これまでに約 3000 点が当標本館に搬入された（図 1）。



図 1. 田中和夫コレクション，オサムシ科（コウチュウ目）

杉繁郎コレクション

杉繁郎氏は日本とアジアの蛾類研究に長年にわたり多大な貢献を続けてこられた有名なアマチュア研究者である。海外の研究者との交流も多く、国際的にもよく知られている。日本においてはヤガ科の分類の第一人者であり、これまで多くの新種を発見され、また日本産の蛾類図鑑の編纂にも深く関わってこられた。最近では日本の蛾類相解明に向けた情報の整理を精力的に行われている。杉氏のコレクションは 2000 年度までに 29000 点が既に寄贈されているが、最

* 農業環境インベントリセンター 昆虫分類研究室

Insect Systematics Laboratory, Natural Resources Inventory Center

インベントリー，第 3 号，p. 51-52 (2004)

近、約 9000 点の標本が新たに寄贈された。コレクションの範囲はアジア全域に及び、また多くのタイプ標本を含んでいる (図 2)。



図 2. 杉繁郎コレクション,
ヤガ科 (チョウ目)

図 3. 梅谷献二コレクション,
大型美麗昆虫



梅谷献二コレクション

梅谷献二氏は農林水産省の植物防疫所や試験研究機関を歴任し、果樹試験場長を平成 2 年に退官された昆虫研究者である。害虫研究の分野ではもとより有名であるが、昆虫関連の多数の著書により、一般にも広く知られている。最近、梅谷氏が長年にわたって収集されてきた世界の大型美麗昆虫約 760 点が当標本館に寄贈された (図 3)。このコレクションの標本はいずれも大きさ、美しさ、奇抜さで人目を惹くものばかりであり、“昆虫のすばらしさ、美しさ、不思議さ”を目の当たりに示してくれる貴重なコレクションである。

問合せ先

農業環境インベントリーセンター 昆虫分類研究室 安田耕司

電話 : 029-838-8354, E-mail: kyasuda@niaes.affrc.go.jp